

## 5月の授業記録をお送りいたします。

向夏の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

本年は例年よりも足早に梅雨が訪れました。紫陽花の大輪がそこかしこで美しく咲き誇り、季節の移ろいを饒舌に伝えていきます。しばし雨の多い毎日が続くことになりませんが、この梅雨が明ける頃には今年もまた、受験生にとって「勝負の夏」がやってまいります。

所沢市内の各中学校では今月末から来月上旬にかけて「1学期・期末試験」を控える学校が多くございます。当塾ではご案内のように「定期試験対策」を試験1週間前から連日実施しておりますので、ぜひご父母各位におかれましては、お子様に対しましてぜひ積極的に塾を活用して来たる試験へ向けしっかりと備えるようにお声がけをお願いいたします。

また中3受験生の中には、部活動の引退を迎えたお子様もいらっしゃるかと存じます。通常の授業以外の曜日・時間帯であっても、教室の自習スペースを随時開放しています。また「土曜無料補講」も実施しておりますので、ご家庭での学習が捗っていないようであれば、ぜひとも教室へお預けください。「受験生としてどういった学習が必要なのか」「今、すべきことは何なのか」など、本格的に受験勉強へ向かおうとする1人1人のお子様に対し、真摯に向き合いながら丁寧に指導してまいります。



## ■塾からのご案内■

### ① 今月中旬～7月上旬に「保護者対象・個別面談」を実施します。

今月中旬～7月上旬にかけ、在塾する小中学生の保護者各位を対象に、「個別面談」を実施させていただきます。教室長との「1:1」の形式で、お1人様につき約40分をおとりいたします。

塾での学習状況や今後の学習の展望、進路にまつわるご相談など幅広くお話をさせていただきたいと思っております。詳細に関しましては、各ご家庭にお送りした「個別面談のご案内」をご覧ください。

### ② まもなく、「夏期講習のご案内」を各ご家庭に送付いたします。

**本年度の夏期講習は7月25日(水)～8月31日(金)の間、正味28日間実施いたします。**「夏期講習のご案内」が完成しましたら速やかに各ご家庭に送付いたしますので、講習の詳細についてはそちらで内容をご確認ください。なお、塾より「受講のご提案」も添えさせていただきますので、そちらにもお目通しをいただければ幸いです。

## 学習のアドバイス

今回は数学の「計算ミスをなくす方法」についてお話ししたいと思います。その前に知っておいてほしいことがあります。それは、「計算ミスの原因の大部分は“気持ち”にある」ということです。計算ミスが多い生徒の解き方の特徴として、「途中式を書かない」「字が汚い」「あちこちに書き散らす」などが挙げられますが、これらはすべて直そうと思えばすぐに直せることです。それをしないのは、本人に“本気で計算ミスをなくそうという気持ち”がないからです。なぜ、“なくす気”がないのかというと、それは、計算ミスを軽く見ているからです。ですから、計算ミスをなくすには「計算ミスの重大性」を本人に実感させることで、“本気で計算ミスをなくそうという気持ち”を起こさせなければなりません。そのために実践してほしいことを以下に2つ挙げますので、参考にしてください。



1つ目は「ケアレスミス」という言葉を使わない」ということです。計算ミスを「ケアレスミス」と認識した瞬間に、間違えたにも関わらずなぜか正解だったような気分になり、その原因を検証しようとする気持ちがなくなってしまいます。

2つ目は「消しゴムを使わせない」ということです。計算ミスが多い生徒の様子を観察してみると、字を書くスピードは速いのですが、書き間違いが多いため、よく消しゴムを使います。これは、計算を軽く考えている証拠です。計算ミスが少ない生徒は、字を書くスピードはそれほど速くありませんが、書き間違いがほとんどありません。そこで、計算ミスが多い生徒に消しゴムを使わせないようにすれば、「字を丁寧に書こう」や「空いているスペースを上手く利用しよう」という、計算ミスをなくすために必要な気持ちが自然に生まれてくるはずです。

## 平成30年度入試を振り返って ③

前回は県内私立高校の応募状況について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は県立高校入試の難易度について、平成30年度入試の平均点をもとに分析してみたいと思います。

学力検査問題における平均点は260.3点で昨年度よりも1.5点上がりましたが、教育委員会が発表した予想平均点は256点、科目ごとに見ても予想の平均点と実際の平均点の差が5点前後でしたので、期待通りの結果と言えます。科目別の平均点ですが、国語は52.8点、数学が44.0点、社会が55.9点、理科が51.7点、英語が55.9点でした。学力上位層が学校選択問題に回った英語と数学についてですが、数学が問題の難易度、平均点ともに昨年並みだったのに対し、英語は問題の傾向が大きく変わったにも関わらず平均点が上昇しました。共通問題では、国語と社会は若干下がりましたがほぼ昨年並みでした。理科は昨年よりもさらに易化して平均点が上がりましたが、全体としてはバランスのいい入試でした。他方、学校選択問題における平均点は、英語が58.9点、数学が43.7点でした。予想平均点は英語が65点、数学が60点でしたので、英語は許容範囲ですが数学は予想をかなり下回る結果となってしまいました。まだ設問ごとの正答率や標準偏差などの詳しい分析結果は出ていませんが、英語と数学ではあまり差がつかず、共通問題の国語・理科・社会の出来が合否を分けた模様です。

こうしてみると、学力検査問題については今回の傾向が続くと思われそうですが、学校選択問題については、まだまだ改善の余地がありそうです。



## 教室長日記

### 古典に学ぶ



私の長年の愛読書の1つに、『徒然草』があります。鎌倉時代の末期、兼好法師(1283～1352)によって書かれた随筆で、中学2年生の国語の教科書にある「仁和寺にある法師(第五十二段)」でも大変おなじみの作品ですね。

日本を代表する古典文学の一つであり、自然や人間に対する鋭い観察や深い思索、加えてその底流にはこの時代に特徴的な無常観が横溢している——というように、『徒然草』の世界は大抵このような堅苦しい表現で説明されることが多いのですが、本当はそんなことなく、わかりやすく面白いく、あるいは「なるほど!」と思えるようなことが、いろいろと書かれています。

例えば、「第百十七段」で述べられていることを、わかりやすく現代語訳してみましょう。  
〈良い友達というのは、物をくれる人・医者・知恵がある人である〉  
…なんかずいぶん率直というか、合理的というか…実に正直な人ですよ。でも確かに間違っていないような…  
〈普段必要なものは持つべきだけれども、それ以外はなるべく何も持たずにいたほうが良い〉  
これは「第百四十段」。元祖、断捨離(笑)…視点を変えれば、モノに満ち溢れた現代に対する「戒め」にも聞こえてきます。

忙しい日常の中で行き詰まったり、ふと歩みを止めてものを考えたりする時、「古典」はその道標になります。『徒然草』に限らず、わかりやすく面白い「古典」はたくさんあります。もし気になる「古典」があるならば、勉強の合間でも時折手に取って、じっくりと読んでみてください。皆さんにとって、何か新しい発見があるかもしれません。

(所沢校 中島)

## 北辰テスト及び過去問題のご案内

中3受験生を対象に4月より北辰テストが実施されております。来年の1月まで(8月・10月を除いて)毎月実施されます。すでにご承知かと存じますが、**当塾から北辰テストのお申し込みが可能**でございます。また当塾では**《通常授業で受講している教科の北辰テストの過去問題(昨年度)》を無料でさしあげております**。また、通常授業で受講されていない教科の過去問題は実費(数学のみ600円・その他の教科は700円)をいただければお渡しいたすことができます。入念な準備をしてテストに臨むために**過去問題は大変重要なツール**ですので、**受験生は5教科の過去問題をなるべく早めにそろえておくこと**をお勧めいたします。

また、個別指導会の各教室では、試験の直前に「北辰テスト対策」を実施しております。実施の詳細は教室ごとに異なっておりますので、詳細は各教室までお問い合わせください。

## 中3受験生とご家庭へ「彩の国 進学フェア」のご案内

■日時 7月21日(土)・22日(日) 10:00～17:00

■会場 さいたまスーパーアリーナ ※入退場自由・予約不要・入場無料

埼玉県内の公立高校及び県内外の私立高校の約300校(ほぼすべての学校)の担当者が一堂に集まり、ご参加の方に対して自校の紹介や入学・進路相談を行います。このフェアを通じ、受験生とご家庭にとって重要な、「どこにどんな学校があり、どんな教育内容を提供しているか」をしっかりと把握することができます(ただし、成績表をお持ちになっても、その場で入学を保証するようなことを尋ねることはできませんので、その点ご注意ください)。

主な対象は中学3年生とその保護者の方ですが、その他の学年でもご参加は可能でございます。また、例年多くの方が参加されるので、当日は大変混み合うことをあらかじめお含みおきください。

詳細は、<http://ysmedia.jp/>にアクセス、もしくは「**彩の国 進学フェア**」で検索してみてください。